

2012年春(3月～5月)の東北地方の天候

- 降水量が多く、日照時間が少なかった
- 春の前半は気温が低かった

(1) 2012年春(3月～5月)の天候

この期間、天気は周期的に変わったが、曇りや雨または雪の日が多くなった。春の前半は、低気圧や寒気の影響を受け、気温が平年を下回る日が多く、大雪や大雨となる日があった。春の後半は、動きの遅い低気圧の影響を受けることが多く、特に5月3日から5日にかけては東北太平洋側で記録的な大雨となった。

3か月平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。3か月間降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。3か月間日照時間は少ない。

3月：この期間、低気圧や前線、寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多くなった。低気圧は数日の周期で本州の南岸を通過し、月末には日本海を進み東北地方を通過した。低気圧の通過後は強い寒気が流れ込んだ。大雪や大雨となる日がたびたびあり、月平均気温は低く、月降水量はかなり多くなった。酒田と福島では3月の月降水量の多い方からの極値を更新し、むつでは3月の月間日照時間の少ない方からの極値を更新した。

月平均気温は低い。月降水量はかなり多い。月間日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側で94%と平年並、東北太平洋側で176%と多い。

4月：上旬は強い寒気の影響を受けた。中旬は高気圧におおわれることが多く、下旬は低気圧や気圧の谷の影響を受けることが多かった。このため東北日本海側では、上旬と下旬は曇りや雨または雪の日が多く、中旬は晴れの日が多くなった。東北太平洋側では、月の前半は晴れの日が多くなったが、月の後半は湿った東よりの風の影響で曇りや雨の日が多くなった。上旬に強い寒気の影響を受けたため東北地方の気温は低く、降雪量は多くなり、新庄と深浦で4月の降雪の深さ月合計値の極値を更新した。

3日から4日かけては、低気圧が日本海で急速に発達し北日本を通過した影響で、各地で大荒れの天気となり、秋田、八戸、新庄で4月の日最大風速の極値を更新した。

月平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

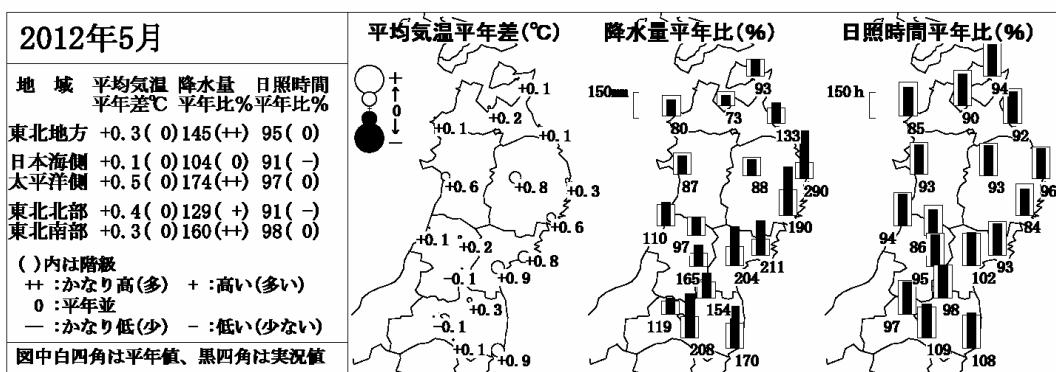
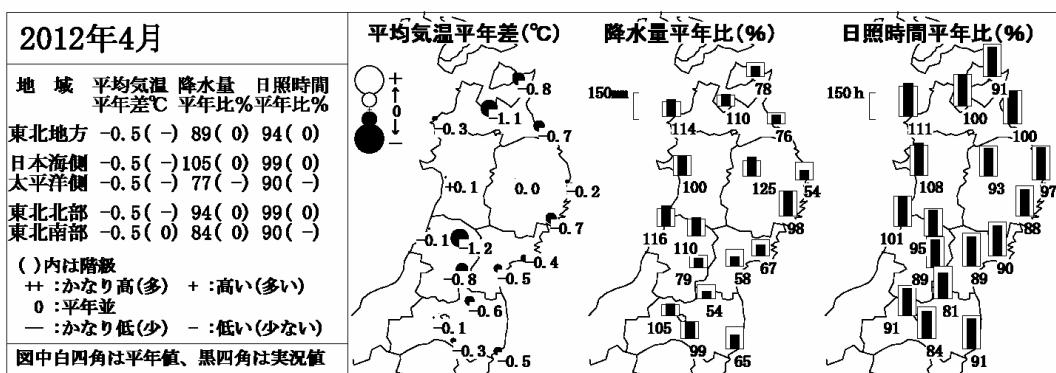
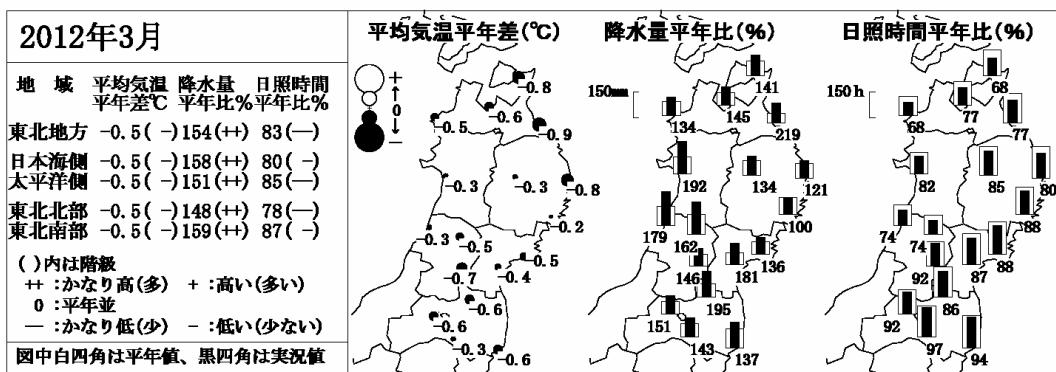
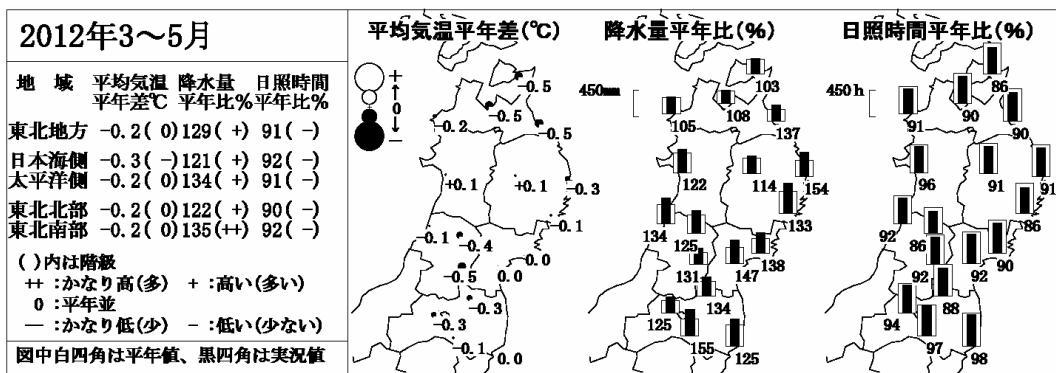
5月：この期間、動きの遅い低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変わったが、上旬は曇りや雨の日が続いた時期があった。上旬はじめを中心に暖かい空気におおわれ気温は高くなったり、上旬終わりから中旬はじめにかけて寒気の影響で気温が低くなるなど、月の前半は気温の変動が大きかった。

3日から5日かけては、低気圧が本州の南岸から東北地方を北上した影響で各県で大雨となり、福島県、宮城県、岩手県で日降水量200ミリを超えたところがあった。白河では5月の月降水量の多い方からの極値を更新した。

月平均気温は平年並。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。
気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2012年春(3月～5月)の
季節・月平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2012年春(3月～5月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級		降水量(平年比)		階級		降水日数		日照時間(平年比)		階級	
	(°C)	(°C)			(mm)	(%)			≥1mm	(h)	(%)			
青 森	7.5	(-0.5)	—		230.0	(108)	○		38		464.4	(90)	—	
深 浦	8.0	(-0.2)	○		296.0	(105)	○		32		429.7	(91)	—	
む つ	6.6	(-0.5)	—		270.5	(103)	○		42		454.8	(86)	—	
八 戸	7.6	(-0.5)	—		281.5	(137)	+*		34		498.5	(90)	—*	
秋 田	9.4	(+0.1)	○		404.5	(122)	+		38		456.5	(96)	○	
盛 岡	8.4	(+0.1)	○		307.5	(114)	+		34		470.7	(91)	—	
大 船 渡	8.8	(-0.1)	○		515.0	(133)	+		33		441.7	(86)	—*	
宮 古	8.1	(-0.3)	—		426.0	(154)	+*		32		499.7	(91)	—*	
仙 台	10.1	(0.0)	○		404.5	(147)	+*		32		509.1	(92)	—	
石 卷	9.1	(0.0)	○		353.0	(138)	+		31		514.1	(90)	—	
山 形	9.2	(-0.5)	—		278.5	(131)	+		33		468.6	(92)	—	
新 庄	7.9	(-0.4)	—		395.5	(125)	+		53		377.0	(86)	—	
酒 田	9.9	(-0.1)	○		442.0	(134)	+*		46		441.8	(92)	—	
福 島	10.8	(-0.3)	—		333.5	(134)	+		28		484.5	(88)	—	
若 松	9.4	(-0.3)	○		270.5	(125)	+		35		472.1	(94)	—	
白 河	9.5	(-0.1)	○		458.0	(155)	+*		34		518.6	(97)	○	
小 名 浜	11.0	(0.0)	○		469.5	(125)	+		31		550.6	(98)	○	

(注) 1. 平年値は 1981~2010 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

±:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

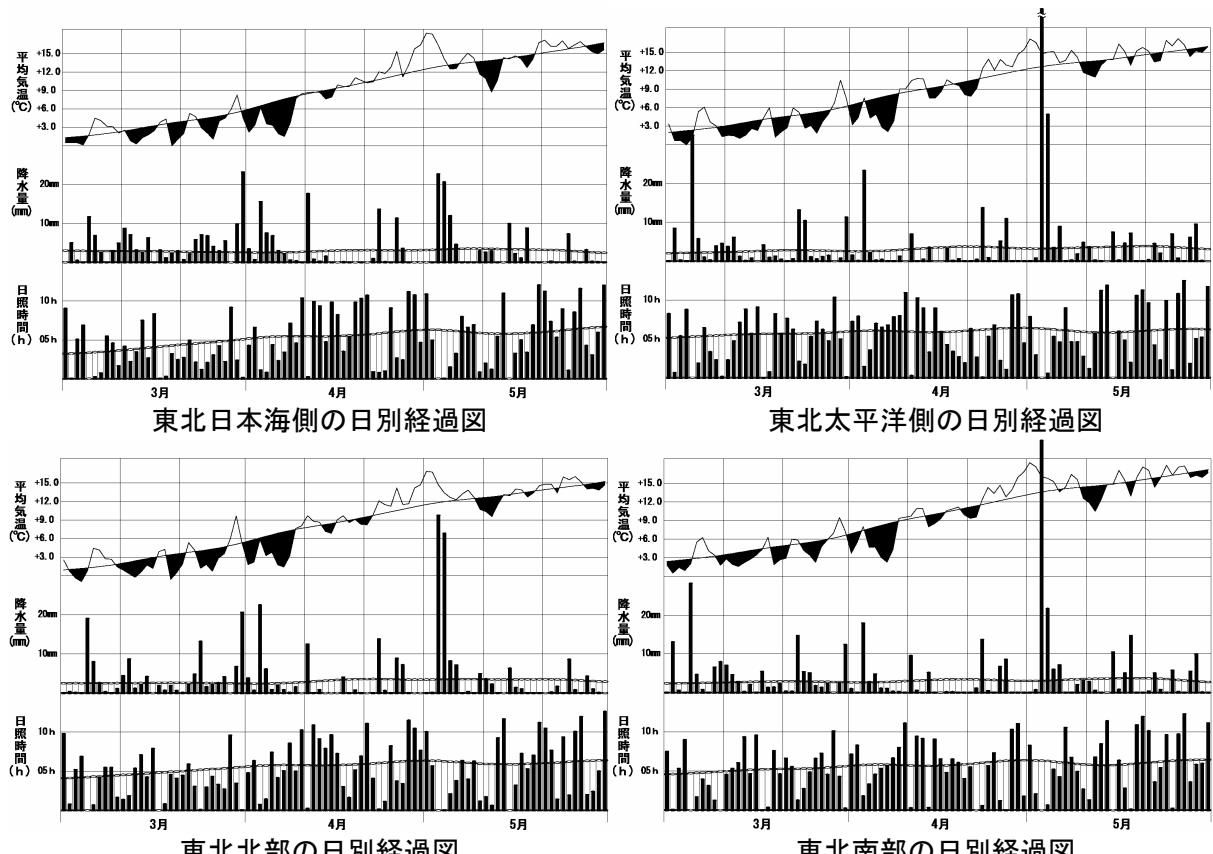
また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

と表現できる。

3. 値の横に「」がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。「」付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にして使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2012年春(3月～5月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2012年春(3月～5月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

3か月間降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	白河	458.0	155	483.0 (1992)	1940	295.8

3か月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	大船渡	441.7	86	382.8 (2010)	1964	511.0

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方、月最深積雪大きい方からの1位のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月降水量多い方からの極値更新

月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	酒田	190.5	179	189.8 (1959)	1937	106.7
	福島	147.5	195	142.8 (1891)	1890	75.6
5	白河	251.5	208	236.2 (1965)	1940	121.2

月間日照時間少ない方からの極値更新

月	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 (西暦年)	開始年	平年値 h
3	むつ	99.8	68	101.6 (1937)	1935	146.4

降雪の深さ月合計値多い方からの極値更新

月	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 (西暦年)	開始年	平年値 cm
4	新庄	47	35 (1978)	1958	14
	深浦	10	7 (1996)	1953	2

(参考) 4月の日最大風速大きい方からの極値更新

月	地点名	最大風速、風向 m/s	起日	これまでの最大 (西暦年月日)	開始年
4	新庄	20.0 西	4	17.7 北西 (1959/04/11)	1958
	八戸	25.9 西南西	4	25.3 西南西 (1942/04/21)	1937
	秋田	28.9 西南西	4	24.8 西 (1947/04/22)	1883

(7) 2012年のさくらの開花・満開

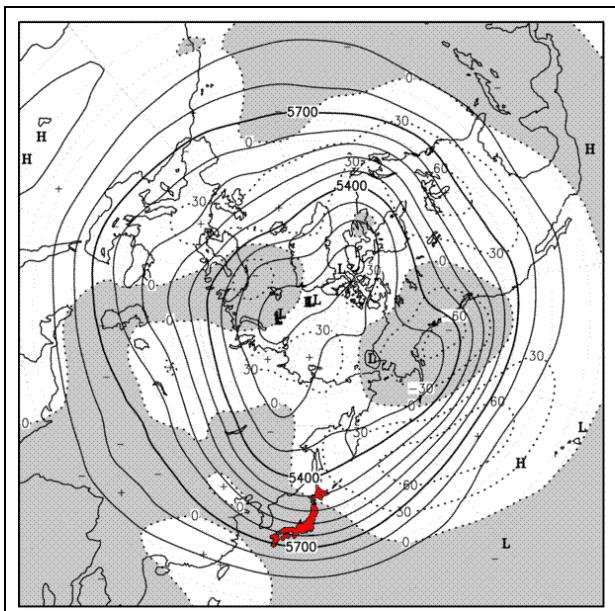
(最早・最晩の統計期間：1953年～2011年：平年値は1981年～2010年)

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2012)	平年値	昨年 (2011)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2012)	平年値	昨年 (2011)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.29	4.24	4.25	4.14/2002	5.11/1984	5.01	4.29	4.28	4.16/2002	5.18/1984
秋田	4.24	4.18	4.23	4.07/2002	4.30/1984	4.26	4.22	4.27	4.12/2002	5.08/1965
盛岡	4.24	4.21	4.20	4.11/2002	5.06/1984	4.28	4.25	4.29	4.16/2002	5.09/1984
仙台	4.18	4.11	4.12	3.29/2002	4.28/1984	4.23	4.16	4.15	4.03/2002	5.03/1984
山形	4.23	4.15	4.18	4.03/2002	4.29/1984	4.26	4.19	4.25	4.06/2002	5.04/1984
福島	4.16	4.09	4.12	3.29/2002	4.25/1984	4.20	4.13	4.15	4.02/2002	4.28/1984

開花：標本木に5～6輪の花が咲いた日

満開：標本木が、咲き揃ったときの約80%以上が咲いた状態となった日

(8) 北半球の大気の流れ（3月～5月）



3月～5月の平均 500hPa 高度・平年偏差図
実線は高度(m)、間隔 60m。破線は偏差(m)、間隔 30m。陰影部は負偏差域。

中央シベリア付近は正偏差、中国東北区付近は負偏差、オホーツク海からアリューシャンの南にかけては正偏差と交互に並び、偏西風の蛇行が明瞭だった。また、日本付近は負偏差となり寒気の影響を受けやすかった。

東北地方は、期間の前半は寒気の影響を受けることが多かった。期間の後半は、日本の東海上の高気圧の影響で、低気圧の動きが遅くなり、曇りや雨の日が多くなった。